

| | |
|-----------------------------|---|
| フリガナ | ヤマモトヤエコ |
| 氏名 | 山本八重子 |
| 職名 | 特任教授 |
| 学位 | 学士(教育学) |
| 所属学科 | 幼児保育学部 |
| 専門分野 | 国語科教育 |
| 主な担当科目 | 国語表現法、文学、人間研究、保育・教職実践演習(幼稚園) |
| 主な研究業績、 職務上の実績、 社会活動等 | <p>【研究業績】</p> <p>教育論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「谷崎潤一郎の女性観について」(昭和47年1月)― 熊本大学教育学部国語科 ・「自分のよさを発揮し主体的な読み手が育つ国語科学習」(平成6年3月)―八代市教育委員会 ・「説明文重要教材の授業展開」(昭和60年3月 共著)― 明治図書出版 ・「文学教材の授業選集」(昭和61年10月 共著)― 明治図書出版 <p>【業務上の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国語教育学会熊本支部研究会分科会助言(平成20年) ・熊本県小学校国語教育研究大会分科会助言(平成22年) ・九州小学校国語教育研究大会分科会助言(平成22年) ・熊本県学校図書館研究大会分科会助言(平成22年) ・九州地区学校図書館研究大会福岡大会分科会助言(平成23年) ・八代市教育研究所教育論文・教育実践記録審査員(平成20年～平成22年) ・八代市立図書館童話発表大会審査員(平成20年～平成26年) ・熊本県大学図書館協議会当番館(令和元年～令和2年) ・熊本県図書館連絡協議会理事(令和2年～令和3年) ・八代市幼稚園規模適正化等審議会会長(令和3年1月～令和4年2月) <p>【社会活動等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八代市立代陽小学校学校評議員 平成22年4月～令和2年3月 ・八代市協働のまちづくり条例検討委員会副会長 平成27年8月～平成29年8月 ・八代市公平委員会委員 平成27年10月～現在 ・八代市共同募金委員会「審査委員会」委員 平成31年3月～現在 ・八代市特別職報酬等審議会委員(令和5年6月～現在) <p>【所属学会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国語教育学会会員 |

| | |
|----------------|---|
| フリガナ | イリエヨシヒデ |
| 氏名 | 入江良英 |
| 職名 | 特任教授 |
| 学位 | 教育学修士 |
| 所属学科 | 幼児保育学会 |
| 専門分野 | 保育学 教育学 人間科学 |
| 主な担当科目 | 保育原理 教育原理 教育方法論 教育制度学 保育者論 |
| 主な研究業績 (著作) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ドイツ連邦共和国の障害学生」 障害学生問題研究会編 『総合大学における障害学生のあり方の基礎研究』所収 多賀出版 平成2年 2. 「学校の社会学」『面白社会学』所収 学文社 平成5年 3. 「変革期における教育社会学」『社会構造の探求—現実と理論のインターフェイス』所収 平成7年 新泉社 4. 「学校の社会学II」『転換期日本社会の諸相』所収 学文社 平成9年 |
| (論文) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 「文理の統一的世界像—創造性の源を目指して」日本創造学会論文集 平成8年 2. 「催眠療法の可能性とバリ島の臨床的知」(共著)東京家政大学紀要 平成13年 3. 「特別支援保育とは何か」 埼玉純真短期大学論文集 平成20年 4. 「幼保一元化の目指すもの」埼玉純真短期大学論文集 平成27年 5. 「OECDの教育観と日本の教育目標—『独自カリキュラム』と『地方創生』の考え方』を考察しつつ」埼玉純真短期大学論文集 平成28年 6. 「未来からの保育原理」埼玉純真短期大学論文集 平成28年 7. 「『個性化』と『社会化』が融合(一致)した保育・教育の研究—『民主的人格』と真実なる『道徳教育』を求めて 精華女子短期大学紀要 令和元年 8. 「『一般教育』『道徳教育』の根源としての『阿弥陀仏』について—『絶対他者』に出会い、自他の区別・分別(二分法)より離れる」精華女子短期大学紀要 令和2年 9. 「2020年~2030年の保育・教育改革についてのポートフォリオプロジェクト遊び・学習・環学(学際)、生活科・総合的学習・学際・デザイン思考を通じて生涯学習を導くこと、そして日本のハブ都市、福岡での実践を通して日本一・世界有数の保育・教育体制を目指す必然について」精華女子短期大学紀要、令和2年 |
| 職務上の実績 社会活動 | 平成18年~平成20年 文部科学省共催 「学びなおしプログラム」 埼玉純真短期大学「軽度発達障害幼児童のためのケア」 企画実施担当教員 現在、埼玉純真短期大学は、4年生の大学等を抑えて、埼玉県北部の「特別支援保育・特別支援教育の研究センター」的役割を担っている。 |

| | |
|-----------------------------|---|
| フリガナ | ミヤザキ ユキコ |
| 氏名 | 宮崎 由紀子 |
| 職名 | 教授 |
| 学位 | 修士(社会福祉学) |
| 所属学科 | 幼児保育学科 |
| 専門分野 | こども家庭福祉 子育て支援論 保育ソーシャルワーク |
| 主な担当科目 | 社会福祉 こども家庭福祉 子育て支援論 こども家庭支援論 卒業研究 実習指導 |
| 主な研究業績、 職務上の実績、 社会活動等 | <p>【研究業績】</p> <p>論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援をめぐる動向と今後の課題(平成21年3月 単著)―熊本学園大学修士論文 ・保育現場に親和性のある保育ソーシャルワークの理論と実践も出るに関する一考察(平成24年12月 共著)―熊本学園大学論文集「総合科学」第19巻第1号 ・保育ソーシャルワークの視点からの「子育て支援コーディネーター」に関する研修―比較・資質・養成を中心―(平成25年6月 教書)―熊本学園大学論文集「総合科学」第19号第2号 ・「熊本における保育実習指導者講習会の試行的取組と内容と課題」(平成26年8月 共著)―熊本学園大学論文集「総合科学」第20号第2号 <p>著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども家庭福祉のフロンティア(平成20年4月 共著)―晃洋書房 ・子ども・若者政策のフロンティア(平成24年4月 共著)―晃洋書房 ・新版 生徒指導のフロンティア(平成25年5月 共著)―晃洋書房 ・教育と福祉の課題(平成26年8月 共著)―晃洋書房 ・道徳教育のフロンティア(平成26年9月 共著)―晃洋書房 ・保育ソーシャルワークの世界(平成26年11月 共著)―晃洋書房 ・人間関係ハンドブック(平成28年11月 共著)―福村出版 ・保育ソーシャルワーカーのお仕事ハンドブック(平成29年10月 共著)―風鳴舎 ・現場から福祉の課題を考える 子どもの豊かなソダト地を支えるソーシャルキャピタル(平成30年2月 共著)―ミネルヴァ書房 ・乳児保育のフロンティア(平成30年4月 共著)―晃洋書房 ・保育・幼児教育のフロンティア(平成30年4月 共著)―晃洋書房 ・改訂版 保育ソーシャルワークの世界8平成30年7月 共著)―晃洋書房 ・改訂版 道徳教育のフロンティア(平成31年4月 共著)―晃洋書房 ・改訂版 子ども家庭福祉のフロンティア(令和2年4月 共著)―晃洋書房 ・改訂版 保育・幼児教育のフロンティア(令和4年5月 共著)―晃洋書房 <p>【所属学会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本保育学会 ・日本乳幼児教育学会 ・日本保育ソーシャルワーク学会(常任理事) <p>【社会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山鹿市における次世代育成支援後期行動計画策定のアンケート調査結果の分析 ・熊本保育実習指導者講習会(平成26年2月) ・施設内虐待における振り返り(平成28年3月) ・日本保育ソーシャルワーク学会における「保育ソーシャルワーク演習 I」の講師(平成28年8月～現在に至る) ・日本保育ソーシャルワーク学会における「ひとり親家庭の理解と援助」の講師(平成29年8月～現在に至る) ・熊本県保育協議会の研究大会において「食育」の助言者として関わる(令和3年6月～現在に至る) ・熊本県私立幼稚園研修大会において「同僚性を育む‘語合い’‘学び合い’」というテーマの助言者(令和5年1月～現在に至る) ・八代市公立保育園研修会講師(令和4年度6月～現在に至る) |

| | |
|-----------------------------|---|
| フリガナ | タナベ ヒロコ |
| 氏名 | 田邊 裕子 |
| 職名 | 准教授 |
| 学位 | 学士(芸術学) |
| 所属学科 | 幼児保育学科 |
| 専門分野 | 声楽、児童合唱、幼児音楽教育 |
| 主な担当科目 | 基礎音楽、保育内容【表現Ⅰ】、こどもの音楽遊び |
| 主な研究業績、 職務上の実績、 社会活動等 | <p>【研究業績】 教育実践記録 ・「幼児の歌唱活動を中心とした音楽表現の実践」(2018年2月 単著) 中九州短期大学論叢第40巻第2号 ・「音楽療法の意義」(2018年2月 共著) 中九州短期大学論叢第40巻第2号</p> <p>著書 ・少年少女のための合唱ミュージカル『うらしま太郎の鬼たいじ』(2013年2月 杉並会議共編)音楽之友社</p> <p>【職務上の実績】(出演) ・八代少年少女合唱団定期演奏会および各種演奏会(ピアノ伴奏および合唱指揮) 八代市厚生会館ほか、熊本県、長崎県、大分県、宮崎県、福岡県、山口県、岡山県、東京都など(1992年～現在に至る) ・八代少年少女合唱団主催クリスマスコンサート(ソプラノ独唱) やつしろハーモニーホール(2002年12月、2013年12月) ・森恭子熊本大学退官コンサート賛助出演(合唱指揮)熊本県立劇場(2013年3月) ・八代演奏家協会主催第38回定期演奏会賛助出演(ソプラノ独唱) やつしろハーモニーホール(2015年2月)</p> <p>【社会活動等】 ・八代少年少女合唱団 指導者(1992年～現在に至る) ・高齢者施設「偕老苑」音楽講座講師(1999年～2021年3月) ・中九州短期大学 校歌歌唱レコーディング(2016年2月) ・八代市立千丁小学校 合唱部講師(2016年3月) ・いずみ保育園 親子レクレーション講師(2016年6月、2017年11月) ・いずみ保育園 職員研修会講師(2016年7月～2019年12月) ・いずみ保育園 うたの広場(歌唱指導)講師(2016年7月～現在に至る) ・日本クラシック音楽コンクール 声楽部門予選会審査員(2016年8月～現在に至る) ・八代市千丁子育て支援センター 育児講座講師(2016年12月～2020年11月) ・中九州短期大学 公開講座講師(2016年12月、2018年2月、2018年12月、2019年2月)</p> <p>【所属学会ほか】 ・全国大学音楽教育学会 ・全国児童合唱指導者の会「杉並会議」 ・熊本県少年少女・児童合唱連盟</p> |

| | |
|---------------------|--|
| フリガナ | モリモトナオキ |
| 氏名 | 森本直樹 |
| 職名 | 准教授 |
| 学位 | 学士(芸術学) |
| 所属学科 | 幼児保育学科 |
| 専門分野 | 造形 |
| 主な担当科目 | こどもの造形遊び、保育内容【表現Ⅱ】 |
| 主な研究業績、職務上の実績、社会活動等 | <p>【研究業績】</p> <p>論文・研究ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期大学学生の「造形表現」に関する研究：灯りを活用した立体造形の実践から(平成29年9月共著)中九州短期大学論叢第40巻第1号 ・幼児期における協働活動としての絵画制作の検討(平成30年2月単著)―中九州短期大学論叢第40巻第2号 ・「10の姿」に着目した紙芝居の分類と活用(1)-幼少接続から考える(平成31年3月共著)―中九州短期大学論叢第41巻第2号 ・「10の姿」に着目した紙芝居の分類と活用(2) -幼少接続から考える(令和元年9月共著)―中九州短期大学論叢第42巻第1号 ・「10の姿」に着目した紙芝居の製作-幼少接続への展開-(令和2年2月共著)―中九州短期大学論叢第42巻第1号 ・公立幼稚園とのコラボレーションによる絵画制作の実践(令和3年3月単著)―中九州短期大学論叢第43巻第2号 ・幼児における「造形遊び」の意義についての一考察(令和4年3月単著)―中九州短期大学論叢第44巻第1号 <p>【社会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡県田川市においての社会学習活動(イラストによる教材の実演及び講師)平成29年11月～令和元年12月 ・八代市工業振興協議会、第21回八代子ども科学フェア出展、体験ブース実施 平成30年1月～令和4年1月 ・八代市立代陽幼稚園創立130周年記念事業依頼協力(地域貢献活動)(園児が描いた描画を壁画にする製作活動)令和元年10月 ・八代市立植柳幼稚園創立70周年記念事業依頼協力(地域貢献活動)(園児が描いた描画を壁画にする製作活動)令和2年11月 ・八代市立太田郷幼稚園創立80周年記念事業依頼協力(地域貢献活動)(園児が描いた描画を壁画にする製作活動)令和3年12月 ・熊本県美術協会会員 令和2年～現在 <p>【受賞歴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第72回熊本県美術協会展 TKU賞受賞(平成29年8月) ・第73回熊本県美術協会展 協会賞(平成30年8月) ・第74回熊本県美術協会展 会友賞(令和元年9月) <p>【所属学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術科教育学会(平成29年8月～現在) ・大学美術教育学会(令和元年6月～現在) |

| | |
|-----------------------------|---|
| フリガナ | タナカ ユウヤ |
| 氏名 | 田中 優也 |
| 職名 | 講師 |
| 学位 | 修士 |
| 所属学科 | 日本保育学科 |
| 専門分野 | 幼児保育 |
| 主な担当科目 | 保育内容【言葉】、こどもの保健、保育実習指導、教育実習指導 |
| 主な研究業績、 職務上の実績、 社会活動等 | <p>【研究業績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領における領域「言葉」に関する一考察-「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」との関連性について-(令和2年9月 単著)—中九州短期大学 論叢第35巻1号 ・保育者養成における保育教材作成について-幼児向け布絵本製作の実践報告-(令和2年3月 単著)—中九州短期大学論叢第43巻2号 ・八代市における就学前子育てニーズと支援についての一考察(その1)-「八代市次世代育成支援に関するニーズ調査」の分析より-(平成25年4月 共著)—中九州短期大学論叢第35巻1号 ・保育所実習指導の実態と課題に関する検討—Y市における調査をもとにして—(平成30年3月 単著)—上越教育大学大学院学校教育研究科修士論文 <p>【社会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県シルバー人材センター連合会 高齢者活躍人材確保育成事業 講師(令和2年～令和3年) ・KMバイオロジクス株式会社 社内研修会 講師(令和4年) <p>【職務上の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人幸田東部福祉会 高田東部保育園 保育士(平成23年4月～平成28年3月) ・国立大学法人 上越教育大学附属幼稚園 保育指導員(平成29年4月～平成30年3月) |

| | |
|-----------------------------|--|
| フリガナ | カネト ノリコ |
| 氏名 | 金戸 憲子 |
| 職名 | 講師 |
| 学位 | 修士(障害心理学) |
| 所属学科 | 幼児保育学科 |
| 専門分野 | 特別支援教育、保育内容 |
| 主な担当科目 | 保育内容「人間関係」、子どもの理解と援助、子どもと人間関係、特別支援教育論 子どもの発達障害、保育臨床相談、教育実習指導 |
| 主な研究業績、 職務上の実績、 社会活動等 | <p>【研究業績】</p> <p>論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の特別支援教育におけるケースへの組織的対応力を高める試み(平成31年2月単著)-九州ルーテル学院大学大学院修士論文 ・幼稚園でのA-CAPDoサイクルによる特別支援教育支援体制構築の一考察—行動理解と支援シートを用いた初動体制の構築—(令和3年3月 共著)-九州ルーテル学院大学研究紀要「心理・教育・福祉研究」第20号(査読付き) <p>学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本保育学会第75回大会口頭発表 「保育現場に求められる特別支援教育コーディネーターのあり方の検討—先進的な取組を行う各自治体のコーディネーター制度を中心に—(令和4年5月) ・日本乳幼児教育学会第32回大会口頭発表 「幼稚園・認定こども園における特別支援教育及び特別支援教育コーディネーターの現状と課題」(令和4年12月) <p>著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新版保育幼児教育のフロンティア(令和4年4月 共著)—晃洋書房 ・特別支援教育と障害児の保育・福祉(令和5年5月 共著)—ミネルヴァ書房 <p>記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度熊本県国公立幼稚園研究大会提案「特別な支援の必要な幼児への合理的配慮と教師の援助のあり方について」(実践研究)(平成30年3月)-熊本県国公立幼稚園会 <p>【職務上の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元公立幼稚園教諭、副園長 ・元小中学校こころの教室相談員 ・熊本大学教育学部非常勤講師(保育内容【人間関係】の理論と方法)令和2年9月～現在 ・九州ルーテル学院大学兼任講師(保育の心理学)令和3年4月～現在 ・熊本医療センター附属看護学校非常勤講師(教育学・生涯学習論)令和4年4月～現在 ・令和4年度熊本市教育センター幼小合同研修会講師(令和4年7月) <p>【所属学会】</p> <p>日本保育学会 日本キリスト教教育学会 日本保育ソーシャルワーク学会 日本乳幼児教育学会</p> <p>【受賞歴】</p> <p>平成27年7月 熊本県国公立幼稚園会永年勤続表彰を受賞</p> |

| | |
|---------------------|---|
| フリガナ | コバヤシ ノリヨシ |
| 氏名 | 小林 宜義 |
| 職名 | 講師 |
| 学位 | 修士:体育科学 |
| 所属学科 | 幼児保育学科 |
| 専門分野 | 健康・体育 |
| 主な担当科目 | 体育講義、体育実技、保育内容【健康】、こどもと健康、こどもの遊びと運動学 |
| 主な研究業績、職務上の実績、社会活動等 | <p>【研究業績】</p> <p>著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容健康教科書(令和3年3月 共著)-北大路書房, 177-186, 第15章「身体能力低下への具体的支援-身体活動量確保への対策」を担当 <p>審査付論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模保育施設におけるコーディネーション運動導入の実践報告(令和6年3月 共著)-北関東体育学会第9巻, 印刷中 ・4歳児に対する下肢の素早い動きを多用したコーディネーション運動の効果(令和3年3月 共著)-北関東体育学研究第6巻, 17-23 <p>紀要論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーション運動を通じて見えてきた保育者養成課程学生の姿勢制御レベル(令和3年3月 共著)-小田原短期大学研究紀要第51号, 341-346 ・スクーリング講義の動機付け向上に関する予備調査～身体表現科目にコーディネーション運動を導入して～(平成31年3月 単著)-小田原短期大学研究紀要第49号, 381-385 ・特別支援学級に在籍する児童の社会生活能力向上のためのコーディネーション運動プログラム開発に関する実践的研究(平成27年3月 共著)-帝京平成大学紀要26, 133-144 ・止まる動きを含んだコーディネーション運動が小学校低学年の体力・運動能力に及ぼす影響(平成26年3月 共著)-帝京平成大学紀要25, 151-159 <p>報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の運動指導スキル獲得の重要性(令和元年12月 単著)-東京都公立保育研究会 広報, 249号, 4-5 ・平成24年度広域スポーツセンター機能強化事業「地域におけるトップレベル競技者の育成の育成支援」実践事例集(平成25年3月 共著)-福井県広域スポーツセンター発行, 25 ・水泳力が高まるコーディネーショントレーニング(平成21年4月 共著)-月間SWIM 第4巻 第4号 通巻35, 7-19 <p>【社会活動等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定保育所フレンドキッズ三郷園・三ノ輪園運営委員(令和3年4月～現在に至る) ・八代市トップアスリート育成事業 強化指定選手選考委員 副委員長(令和4年～現在に至る) <p>【所属学会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本体力医学会・日本発育発達学会・北関東体育学会 |